

成果連動型介護予防事業を駆動する Evidence-based Policy Making (EBPM) ビジネスプラットフォーム

[実施主体]

代表団体：株式会社 日立製作所 (<https://www.hitachi.co.jp>)

参加団体：八王子市、府中市

エーテトラボ 株式会社、株式会社 Rehab for JAPAN、株式会社 Mealthy

[実地地域・場所]

東京都 八王子市、府中市

[実施予定時期]

令和4年7月初旬～令和5年2月下旬

[実施内容]

○目的

自治体が PFS^{※1}型介護予防事業及びエビデンスに基づく介護予防事業を推進するための、EBPM^{※2} 支援プラットフォームを創成し、都民の QoL (Quality of Life) 向上に資する介護予防サービスの実現を目指すこと。

※1 Pay For Success (成果連動型民間委託契約方式) ※2 Evidence Based Policy Making (証拠に基づく政策立案)

○取組概要

- 介護予防アプリを導入済みの八王子市、府中市と連携し、国保データベース (KDB) と PHR^{※3}をクラウドで突合し介護予防効果を測定するための EBPM 支援プラットフォームを構築する。
※3 Personal Health Record (個人の医療・介護・健康データ)
- エビデンスに基づく介護予防事業の導入事例として、八王子市 PFS 型介護予防事業の検討と実証を行い、介護事業・保健事業における課題を検証することで、データ活用モデルと EBPM 支援プラットフォームを活用したサービスモデルの構築を図る。

